

CLUSTERPRO
MC RootDiskMonitor 2.3
for Windows

CLUSTERPRO
MC StorageSaver for BootDisk 2.3
(for Windows)

FAQ 集

© 2018(Jun) NEC Corporation

- はじめに
- 導入に関する質問
- 運用に関する質問
- 動作環境に関する質問

改版履歴

| 版数 | 改版 | 内容 |
|-----|--------|-----------------------|
| 1.0 | 2015.3 | 新規作成 |
| 2.0 | 2016.3 | バージョンアップに伴い改版 |
| 3.0 | 2017.4 | バージョンアップに伴い改版 |
| 4.0 | 2017.9 | CLUSTERPRO 連携記述内容の修正 |
| 5.0 | 2018.4 | バージョンアップに伴い改版 |
| 6.0 | 2018.6 | リンク先の URL および商標の記載を修正 |

はしがき

本書は、CLUSTERPRO MC RootDiskMonitor 2.3 for Windows (以後 RootDiskMonitor と記載します)、CLUSTERPRO MC StorageSaver for BootDisk (for Windows) の FAQ について記載したものです。

(注) StorageSaver for BootDisk は、以後 RootDiskMonitor と表記します。

- (1) 本書の文中で、特に指定がなければ「RootDiskMonitor」は「CLUSTERPRO MC RootDiskMonitor 1.0 for Windows 以降のバージョン」を示すものとします。
- (2) 本書の文中で赤字の部分は、設定や手順を行う際に注意していただきたい箇所となります。
- (3) 商標および登録商標
 - ✓ その他記載の製品名および会社名は、すべて各社の商標または登録商標です。
 - ✓ なお、本書では®、TM マークを明記しておりません。

目次

| | |
|--------------------|---|
| 1. はじめに | 1 |
| 2. 導入に関する質問..... | 2 |
| 3. 運用に関する質問..... | 4 |
| 4. 動作環境に関する質問..... | 5 |

1. はじめに

本書での表記規則について、下記のように定義します。

| 記号表記 | 使用方法 | 例 |
|------|---|--|
| 「」 | 参照するマニュアル名の前後 参照する章および章のタイトル 名の前後 | 「ユーザーズガイド」の「I/O パスの監視手順について」の 章の「I/O パスの死活監視」をご覧ください。 |
| 【】 | ファイル名およびフォルダー名の 前後 | 【インストールフォルダー】¥HA¥RootDiskMonitor |

2. 導入に関する質問

| | |
|-----|---|
| Q1. | RootDiskMonitor をインストール後、IP アドレス・ホスト名が変更となった場合、何か処置が必要でしょうか？ |
| A1. | RootDiskMonitor は IP アドレス・ホスト名を参照していませんので、これらの変更があっても影響はありません。 設定ファイルの再作成や再起動、再インストールなどの処置は不要です。 |

| | |
|-----|---|
| Q2. | サーバーの起動・終了時に RootDiskMonitor を起動・終了する場合、何か設定が必要でしょうか？ |
| A2. | RootDiskMonitor サービスから起動・終了を制御するため、特別な設定は不要です。 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|-----------------|---|-------------------|---|--------------|---|--------|----------------------|--|-----------------|--|--|--|--|--|--|--|
| Q3. | 内蔵ディスクの障害が発生してからこの障害を検出するまでの時間と関連するパラメーターについて教えてください。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| A3. | <p>障害検出に関連するパラメーターは以下です。</p> <table border="1" data-bbox="343 913 1461 1037"> <tr> <td>TimeDiskFault</td> </tr> <tr> <td>監視リソースを異常と判定する時間を指定します。 デフォルト 60 秒で障害を検出します。</td> </tr> </table> <p>* デフォルトの検出時間を短縮した場合、復旧可能な間欠故障も異常とみなす場合があります。デフォルト値でご利用ください。</p> <p>OS ディスク全体の障害状態が TimeDiskFault 時間続くと、障害が発生したとみなします。障害が発生してから、障害検出を行うまでの時間は以下となります。</p> <table border="1" data-bbox="343 1267 1461 1386"> <tr> <td>TestI/O 発行間隔(5 秒)</td> <td>+</td> <td>障害検出時間(60 秒)</td> <td>=</td> <td>約 65 秒</td> </tr> <tr> <td>(TimeTestIOInterval)</td> <td></td> <td>(TimeDiskFault)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="5">* TestI/O 発行間隔があるため最大で 65 秒かかる場合があります。</td> </tr> </table> <p>詳細は「ユーザズガイド」の「I/O パスの監視手順について」の章の「I/O パスの死活監視」をご覧ください。</p> | TimeDiskFault | 監視リソースを異常と判定する時間を指定します。 デフォルト 60 秒で障害を検出します。 | TestI/O 発行間隔(5 秒) | + | 障害検出時間(60 秒) | = | 約 65 秒 | (TimeTestIOInterval) | | (TimeDiskFault) | | | * TestI/O 発行間隔があるため最大で 65 秒かかる場合があります。 | | | | |
| TimeDiskFault | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 監視リソースを異常と判定する時間を指定します。 デフォルト 60 秒で障害を検出します。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| TestI/O 発行間隔(5 秒) | + | 障害検出時間(60 秒) | = | 約 65 秒 | | | | | | | | | | | | | | |
| (TimeTestIOInterval) | | (TimeDiskFault) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| * TestI/O 発行間隔があるため最大で 65 秒かかる場合があります。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|------------------------------|---|------------------------------|---|------------------|--|---------|---------------|
| Q4. | DiskStallAction とは、何を設定する値でしょうか？ | | | | | | |
| A4. | <p data-bbox="343 264 1461 376">DiskStallAction とは、内蔵ディスクに対する I/O の応答が、TimeDiskStall 時間内に帰ってこないような無応答障害(I/O ストール)を検出したときのアクションを指定する値です。以下のアクションを実行します。</p> <table border="1" data-bbox="343 416 1444 692"> <tr> <td data-bbox="343 416 722 533">ServiceCmdDisable (デフォルト)</td> <td data-bbox="722 416 1444 533">アクションは実行しません。 I/O ストールを検出すると、イベントログにメッセージを出力します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="343 533 722 649">ServiceCmdEnable</td> <td data-bbox="722 533 1444 649">I/O ストールを検出すると、Rdmstat.exe が停止します。 CLUSTERPRO にて Rdmstat.exe を監視しておくことで消滅を検知し、ノードを切り替えます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="343 649 722 692">TocExec</td> <td data-bbox="722 649 1444 692">OS を強制終了させます。</td> </tr> </table> <p data-bbox="343 734 1430 766">詳細は「ユーザーズガイド」の「設定ファイルの設定」→「設定ファイルの記述」の章をご覧ください。</p> | ServiceCmdDisable (デフォルト) | アクションは実行しません。 I/O ストールを検出すると、イベントログにメッセージを出力します。 | ServiceCmdEnable | I/O ストールを検出すると、Rdmstat.exe が停止します。 CLUSTERPRO にて Rdmstat.exe を監視しておくことで消滅を検知し、ノードを切り替えます。 | TocExec | OS を強制終了させます。 |
| ServiceCmdDisable (デフォルト) | アクションは実行しません。 I/O ストールを検出すると、イベントログにメッセージを出力します。 | | | | | | |
| ServiceCmdEnable | I/O ストールを検出すると、Rdmstat.exe が停止します。 CLUSTERPRO にて Rdmstat.exe を監視しておくことで消滅を検知し、ノードを切り替えます。 | | | | | | |
| TocExec | OS を強制終了させます。 | | | | | | |

3. 運用に関する質問

| | |
|-----|--|
| Q1. | イベントログに出力されるメッセージの対処方法がわかりません。 |
| A1. | 詳細は製品媒体に含まれている「イベントログメッセージ一覧」をご覧ください。 または、以下の URL よりご覧になれます。 https://jpn.nec.com/clusterpro/mc_ha/download.html#anc-hsg |
| Q2. | RootDiskMonitor のバージョンアップ時にクラスターを停止する必要がありますか？ クラスターを停止せずバージョンアップする方法があれば教えてください。 |
| A2. | クラスターを停止せずに RootDiskMonitor のバージョンアップを行うと、クラスターの カスタムモニタリソースが異常を検知し、フェールオーバーが開始されてしまいますので、 必ず、クラスターを停止してから、RootDiskMonitor のバージョンアップを行うようにしてください。 |

4. 動作環境に関する質問

| Q1. | RootDiskMonitor のディスク使用量はどれくらいですか？ | | | | | | |
|--|---|----------|----|-----|--|---------------------|---------|
| A1. | <p>RootDiskMonitor は、【インストールフォルダー】¥HA¥RootDiskMonitor 配下を使用します。使用量は以下のとおりです。</p> <table border="1"><thead><tr><th>マウントポイント</th><th>説明</th><th>サイズ</th></tr></thead><tbody><tr><td>【インストールフォルダー】 ¥HA¥RootDiskMonitor 配下</td><td>設定ファイル、 トレースファイル</td><td>21MB 以上</td></tr></tbody></table> <p>トレースファイルはサイクリックとなっていますので、ディスク容量を圧迫することはありません。</p> <p>詳細は、「リリースメモ」の「必要容量」の章を参照してください。</p> | マウントポイント | 説明 | サイズ | 【インストールフォルダー】 ¥HA¥RootDiskMonitor 配下 | 設定ファイル、 トレースファイル | 21MB 以上 |
| マウントポイント | 説明 | サイズ | | | | | |
| 【インストールフォルダー】 ¥HA¥RootDiskMonitor 配下 | 設定ファイル、 トレースファイル | 21MB 以上 | | | | | |
| Q2. | RootDiskMonitor は、一時ファイルを作成しますか？ | | | | | | |
| A2. | RootDiskMonitor は、一時ファイルの作成を行いません。 | | | | | | |

CLUSTERPRO
MC RootDiskMonitor 2.3 for Windows

CLUSTERPRO
MC StorageSaver for BootDisk 2.3 (for Windows)

FAQ 集

2018 年 6 月 第 6 版
日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目 7 番地 1 号
TEL (03) 3454-1111(代表)

© NEC Corporation 2018

日本電気株式会社の許可なく複製、改変などを行うことはできません。
本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

保護用紙